



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要						
建物名称	(仮称)藤津寮	BEE	1	BEEランク	B+	★★★

2. 重点項目への取組み度					
重点項目	得点*/満点	取組み度	評価		
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	2.9	/5	がんばろう		
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	3.0	/5	ふつう		
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.5	/5	がんばろう		
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.1	/5	がんばろう		
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4 点以上	ふつう 3 点以上	がんばろう 3 点未満

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目		
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。		得点		
<b>"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)</b>			<b>2.9</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>①外皮性能:省エネ仕様基準による等級4</li> <li>②昼光率:3.6%</li> <li>④躯体耐用年数 65年(鉄筋コンクリート造)</li> <li>④内装仕上げ:ビニルクロス20年</li> <li>④換気ダクト:ガルバ/SUSフード</li> <li>④給排水配管: Bランク以上</li> <li>④界壁:鉄筋コンクリート造 200mm</li> <li>④階床:YPE2重床仕様</li> </ul> </li> <li>■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>⑤</li> <li>⑥</li> </ul> </li> <li>■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>⑦外皮性能:省エネ仕様基準による等級4</li> <li>⑧すべての照明にLEDを採用</li> </ul> </li> <li>■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>⑪節水コマの採用</li> <li>⑫ビニル床タイル(エコーク)</li> <li>⑬サッシ/ガラス/タイル/打継ぎ目地シーリング(非有害物質)</li> <li>⑬断熱材 OPD=0 GWP=1</li> <li>⑬R32冷媒の使用(OPD=0)</li> </ul> </li> <li>■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>⑭ホルライフカーボン排出率55%</li> <li>⑮</li> </ul> </li> </ul>	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 3.2 3.2.1 ③ Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 2.2.2 ④ 2.2.3 ④ 2.2.4 ④ 2.2.5 ④ 2.2.6 ④ Q-3 1 ⑤ 3 3.2 ⑥ LR-1 1 ⑦ 2 ⑧ 3 ⑨ 4 4.1 ⑩ 4.2 ⑩ LR-2 1 1.1 ⑪ 1.2 1.2.1 ⑪ 1.2.2 ⑪ 2 2.1 ⑫ 2.2 ⑫ 2.3 ⑫ 2.4 ⑫ 2.5 ⑫ 2.6 ⑫ 3 3.1 ⑬ 3.2 3.2.1 ⑬ 3.2.2 ⑬ 3.2.3 ⑬ LR-3 1 ⑭ 2 2.2 ⑮	① 外皮性能 ② 昼光利用設備 ③ 昼光制御 ④ 躯体材料の耐用年数 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 ④ 主要設備機器の更新必要間隔 ⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ 敷地内温熱環境の向上 ⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑩ 運用管理体制 ⑪ 節水 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑫ 材料使用量の削減 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 ⑬ 消火剤 ⑬ 断熱材 ⑬ 冷媒 ⑭ 地球温暖化への配慮 ⑮ 温熱環境悪化の改善		
	<b>"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)</b>			<b>3.0</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>⑯耐震性能 基準法1.2倍</li> <li>⑰各住戸に1Gbit光インターネットが完備されている。</li> </ul> </li> </ul>	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 2.1.2 ⑯ 2.4 2.4.1 ⑰ 2.4.2 ⑰ 2.4.3 ⑰ 2.4.4 ⑰ 2.4.5 ⑰	⑯ 耐震性 ⑰ 免震・制振性能 ⑰ 空調・換気設備 ⑰ 給排水・衛生設備 ⑰ 電気設備 ⑰ 機械・配管支持方法 ⑰ 通信・情報設備	
	<b>"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)</b>			<b>2.5</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>⑲階高さ2.76m(天井高さ2.40m)</li> <li>⑲</li> <li>⑲</li> <li>⑲</li> <li>⑲</li> </ul> </li> <li>■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>㉑住戸分の駐輪スペースを配置した。道路でのハモニカ駐車を禁止、敷地内で転回できる駐車場配置</li> <li>㉑</li> </ul> </li> </ul>	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱ 3 3.1 3.1.1 ⑲ 3.1.2 ⑲ ⑲ Q-3 3 3.1 ㉑	⑱ ユニバーサルデザイン計画 ⑲ 階高のゆとり ⑲ 空間の形状・自由さ ㉑ 地域性への配慮、快適性の向上		
	<b>"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)</b>			<b>2.1</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■室外環境(敷地内)対策 (⑳生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/㉓敷地内温熱環境の向上)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>⑳</li> <li>㉒</li> <li>㉓</li> </ul> </li> <li>■敷地外環境対策 (㉔持続可能な森林から産出された木材/㉕温熱環境悪化の改善)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>㉔</li> <li>㉕</li> </ul> </li> </ul>	Q-3 1 ⑳ 2 ㉒ 3 3.2 ㉓ LR-2 2 2.5 ㉔ LR-3 2 2.2 ㉕	⑳ 生物環境の保全と創出 ㉒ まちなみ景観への配慮 ㉓ 敷地内温熱環境の向上 ㉔ 持続可能な森林から産出された木材 ㉕ 温熱環境悪化の改善		

# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)鷺津寮	階数	地上5F
建設地	静岡県湖西市鷺津 1098-6他7筆	構造	RC造
用途地域	第2種住居地域・法第22条区域内	平均居住人員	64 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年2月 予定	評価の実施日	2026年3月7日
敷地面積	1,615 m <sup>2</sup>	作成者	白柳 明臣
建築面積	532 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	2,048 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目目で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.8**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.3

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 1.7

**LR のスコア = 3.1**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.1

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.1

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> これは、CASBEE静岡 2021SDGs対応版による評価結果である。(※SDGsは考慮しないものとする。)本建物は、近隣の工場拡大に伴い、周辺地域の単身者の住戸が2027年以降不足することが予想されることから建設するに至った。		<b>その他</b> 特になし。
<b>Q1 室内環境</b> 住戸間の界壁を鉄筋コンクリート200mmとし、遮音性を高めています。また、上下階の遮音性能も遮音性の高い2重床の束仕様としました。省エネ仕様標準とし、等級4となります。	<b>Q2 サービス性能</b> すべての居室に1Gbitの光インターネット回線を採用している。耐震性能は基準法に定められた数値から静岡県構造指針により地域係数1.2倍の割増した数値を採用している。耐用年数の長い配管を採用し、維持管理を容易に行うため、配	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 東側狭い道路について、道路後退を行った。建物外部は夜間照明を配置し、防犯性に考慮した。
<b>LR1 エネルギー</b> 断熱性の高い材料を採用し、建物の温熱負荷抑制に配慮した。すべての照明にLEDを採用し、省エネに配慮した。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ビニル系床シートにエコマーク商品を採用した。各水栓に節水コマを設置した。環境に配慮した発泡剤を使用した。	<b>LR3 敷地外環境</b> 交通抑制のため、住戸分の駐輪スペースを配置した。また、道路でのハモニカ駐車を禁止するため、敷地内で転回できる駐車場配置とした。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される